

2021 年度 久留米大学 後期理系 第 1 問

問題 a, b を実数の定数とする。4 次方程式 $x^4 + ax^3 + ax^2 + (6 - a)x + b = 0$ について、次の問いに答えよ。

- (1) $x = 1 + \sqrt{3}i$ を解にもつとき、 $a =$, $b =$ であり、このときの 4 次方程式の異なる実数解の個数は 個である。
- (2) $a = 3, b = 1$ のとき、4 次方程式の異なる実数解の個数は 個であり、虚数解の個数は 個である。

S_kurume2021C_01.pbm